新時代の国土・地域づくりへの架け橋
～九州と四国、そして本州をつなぐ最後のピース～

愛媛県

高規格道路
大洲・八幡浜自動車道

《直面する課題と社会の変化》

課　題	人口減少や少子高齢化の進行、大規模災害の切迫
社会の変化	物流の2024年問題、コロナ禍後の生活スタイルの変化、デジタル化の進展、高規格道路網の発展

大洲・八幡浜自動車道

新たな国土軸（国土構造の変革） ※（ 地方創生の道（成長・活力） ＋ 命の道（安全・安心） ）

国土の持続可能な発展＋安心して住み続けられる地域の形成

○「新たな国土軸」として一層重要性が高まる九州と四国、本州をつなぐルート

■九州と京阪神間の運転距離と移動時間

起点	本州ルート	四国ルート
大分	約651km 約 7．8時間	約426km 約 8．2時間
宮崎	約849km 約10．7時間	約573km 約10．4時間
鹿児島	約873km 約10．0時間	約725km 約12．2時間

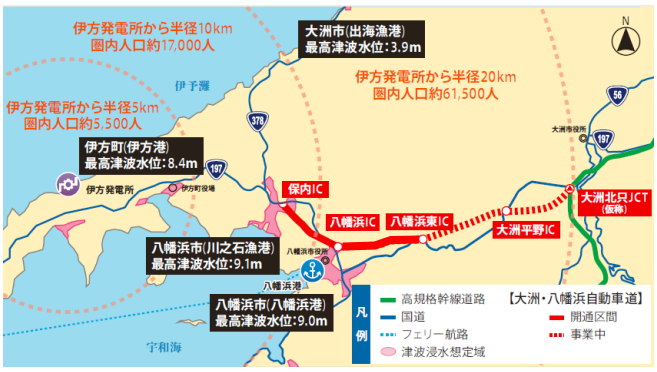
※1　各県庁所在地から中国吹田ICまで。
※2　四国ルートの航路は「八幡浜港～臼杵港」。移動時間はフェリー乗船時間（145分）を含む。

○地域産業の活性化、観光振興などを支援する「地方創生の道」

✓ 観光地がもっと近く、もっと身近に

出典：令和元年 観光客とその消費額

県内観光客数　上位5位（令和元年）	利用者数	所在地
1　松山城ロープウェイ	133万人	松山市
2　道の駅「八幡浜みなっと」	107万人	八幡浜市
3　道後温泉入浴客（本館・別館）	104万人	松山市
4　道の駅「天空の郷　さんさん」	102万人	久万高原町
5　マイントピア別子	66万人	新居浜市

○大規模災害時の広域避難・緊急輸送の軸となる「命の道」

✓ 大規模災害への事前の備え、災害時の広域避難や緊急輸送の円滑化による安全・安心の確保